

福祉目標

こどもから おとなまで まなびあい つながるまち
こ ま つ

「小松がこんなまちになったらいいな!」「今後どのような活動が必要だろう?」など地域のみなさんの声や第7次地区福祉計画での活動の振り返りなどから、小松分区の地域の課題を整理し今後6年間（H27年～H32年）の活動の計画をまとめました。この、計画に基づいて地域の関係機関と連携しながら活動を進めていきたいと思えます。

重点項目

つながる まちづくり

地域住民や団体、関係機関が積極的につながり連携しあうことで、より良い地域づくりをすすめます。

1. つどえる場の充実

- ・ふれあいサロン「なごみ」や昼食会「望月会」、子育てサロン「ふれんず」等の充実を図り、参加者増に向けた工夫等を行います。
- ・地域内の「花あかり」や「すみれ」などのつどい場等と連携しながら、住民が身近な所でつどえる場を増やす取り組みを検討します。

2. 多世代や障がいのある方との交流促進

- ・障害者スポーツのボッチャを通して、子どもから高齢者など、様々な世代が地域で交流できる機会をつくっていきます。
- ・各行事で多世代交流が促進できるような工夫を行います。

3. 情報の発信と共有

- ・広報誌等により、情報の発信と共有をめざします。

あんしんの まちづくり

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるようなまちづくりを進めます。

1. 地区ネットワーク会議の充実開催

- ・地域の諸団体や地域包括支援センター等の専門職がつながることで、地域における課題を話し合い、解決方法を一緒に考えることで地域のあんしんづくりを進めます。

2. 見守り活動の充実

- ・ふれあい配食や電話訪問などの活動やサロン活動等とおして、地域内での孤立・孤独を防ぐ取り組みを推進します。
- ・自治会や民生委員、当事者団体等と連携し、高齢者や障がいのある人との日常的なつながりを深め、災害時などでの支援について検討します。

学びあう まちづくり

地域内での「学び」の機会を充実していくことで、福祉活動の基盤となる人材の発掘と育成を行います。

1. 福祉学習の推進

- ・小松こだまを中心にPTAや当事者等と連携しながら、小学校における福祉体験学習への積極的なかかわりを継続していきます。
- ・学校や三光塾との関係を活かし、子どもの時から福祉について身近に学ぶ機会をつくります。

2. ボランティア活動の新しい仕組みの検討

- ・小松こだまの活動を充実し、様々な世代が少しずついろいろな形でボランティア活動に関わることができるような新たな仕組みを考えます。